

平成30年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

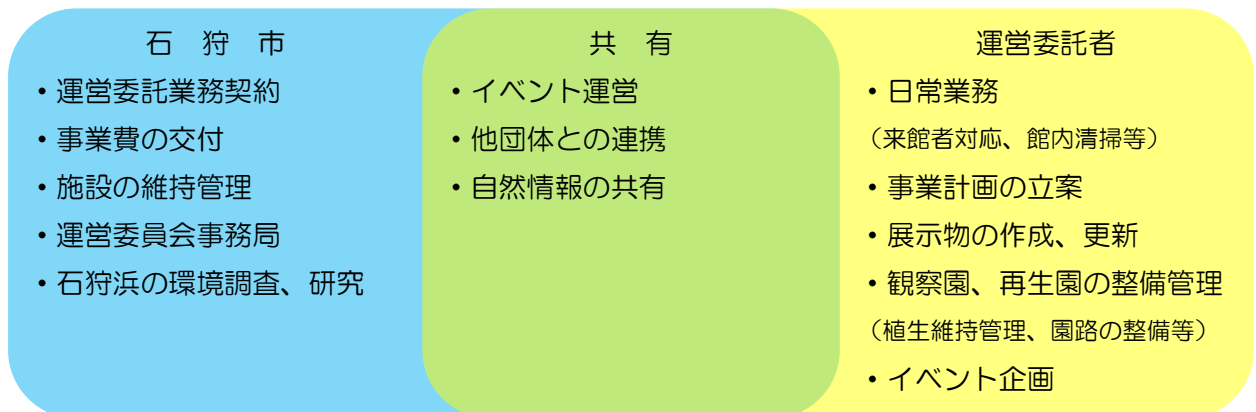
石狩市環境市民部
石狩浜海浜植物保護センター

目 次

事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
1. 普及啓発活動	・ ・ ・ ・ ・ 2
2. 調査・研究	・ ・ ・ ・ ・ 15
3. 自然観察園の整備	・ ・ ・ ・ ・ 16
4. 環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 17
5. 来館者数	・ ・ ・ ・ ・ 18
6. 保護・回復対策	・ ・ ・ ・ ・ 19
沿革	・ ・ ・ ・ ・ 20

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境を残していくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。平成 29 年度より、更に施設機能を充実させ、市民が地域の宝として認識し、保全活動等への市民参加を促進していくために施設業務の一部を市民団体へ委託することになりました。本年度は石狩浜の保護・保全活動や普及啓発活動に取り組まれている「NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ」に運営委託をすることとなりました。



石狩浜海浜植物保護センター運営委託業務分担

1. 普及啓発活動

1-1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト

近年石狩浜は、後を絶たないバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつあります。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成25年度に「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトの一環として、当センターの隣接地 7,000 m²を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植（280本）、移植後の除草作業、散策路づくりに取り組みました。日常的な作業のほか、市民ボランティアや再生プロジェクト参画企業に参加いただくイベント（ハマナス Healthy タイム等）として、作業を実施しました。移植用のハマナス苗づくりは、苗を預かって自宅で育てていただく「はまなすサポーター」を募集し、協力いただきました。



ハマナス再生園の全景（2017年6月撮影）

■第6回 はまなすフェスティバル

内容：石狩浜海浜植物保護センターを会場に、フェスティバルのテーマを「健康パワー」として開催し、各コーナーには、ハマナスの効能を分かりやすくPOPを用いて表示しました。朝摘みの花びらを使って蒸留水を作る「香りのモーニングツアー」は2年連続で実施しました。午後はモーニングツアーで作った蒸留水を使って手作りハマナスコスメをつくる「はまなすコスメのワークショップ」



や、ハマナスのクリームを使ったハンドマッサージなど、ハマナスの健康パワーを体験ができる企画となりました。道の駅オープンなどの影響か参加者は昨年度より減少しましたが、石狩浜の自然の魅力を多くの人に伝え、ハマナスを活かした市民活動の活性化に繋がりました。

開催日：平成30年6月16日（土）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：550人

主催：はまなすフェスティバル実行委員会

協力：一般社団法人石狩観光協会、石狩天然温泉番屋の湯

■はまなす広場

内容：石狩本町地区で最も人が集まる「石狩さけまつり」と同日（2日目）に開催し、秋のハマナスをとことん楽しんでいただく企画となりました。ハマナスの実を摘んでジャムを作る「魅惑のローズヒップツアー」、ローズヒップで飾るリース作り、香り体験、海浜植物を用いた押し花クラフト（しおりづくり）、はまなすクイズラリー、スタンプラリー、ハマナスの種当て大会、ハマナスグッズの出展などで賑わいました。また、施設内では、第6回いしかり海辺の自然フォトコンテスト入賞作品展も行われました。



開催日：平成30年9月23日（日・祝）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：670人

主催：はまなすフェスティバル実行委員会

協力：一般社団法人石狩観光協会、石狩天然温泉番屋の湯

■はまなすセミナー

内容：フリーライター伊藤由起子氏を講師とし、「生活文化史にみるハマナス～食用、薬用、香料」をテーマにお話いただきました。生活文化の中でハマナスが歴史的にどのように北海道内で活用されてきたか、ハマナスの現状はどうなっているか、再生プロジェクトを紹介する展示コーナーなども設け、ハマナスを五感で学ぶセミナーとなりました。



北海道命名150年関連事業として登録。一般財団法人アイヌ民族博物館、札幌市環境プラザ、La table verteの協力をいただきました。

開催日：平成30年5月13日（日）

場所：札幌市環境プラザ・環境研修室（札幌エルプラザ2階）

講師：フリーライター 伊藤 由起子氏

参加者数：48人

参加費：1,000円

■ハマナス再生園に関する活動

◎ハマナス Healthy タイム・Motto time

内容：ハマナス再生園内の除草作業や移植作業など、市内外の方々からハマナス再生作業にご参加いただきました。Healthy タイムには作業後にお茶会が設けられ、サポーター同士の交流を深める場になりました。作業後は、参加者へ石狩天然温泉番屋の湯のご協力により当日入浴券をご提供いただきました。



《ハマナス Healthy タイム》

開催日	参加人数	茶話会提供者
6月7日（木）	6人	The St Monica
7月12日（木）	7人	お茶の土倉
9月6日（木）	—	La table verte
10月11日（木）	3人	後藤商店、ショコラティエ NANAYA

※9/6北海道胆振東部地震に伴い中止

《Motto time》

開催日	参加人数	開催日	参加人数
5月10日（木）	10人	8月2日（木）	8人
5月31日（木）	4人	8月23日（木）	5人
6月28日（木）	6人	9月27日（木）	7人

◎ハマナスサポーター

登録数：187人（平成30年度新規登録者数28人）

ハマナスの苗の配布数（4/1～11/3）：苗63本

■第6回 いしかり海辺の自然フォトコンテスト

募集期間：5月1日～7月31日

応募数：53点

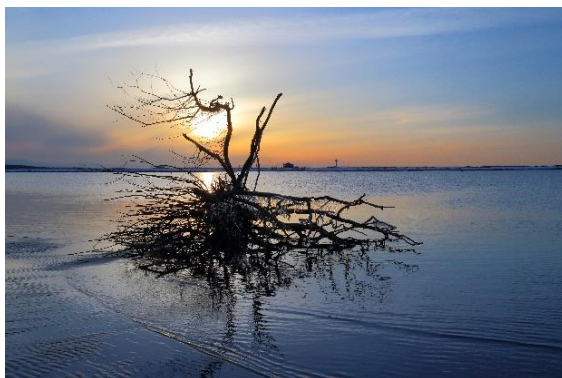
全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「いしかり海辺の自然フォトコンテスト」を開催しました。第5回までは、「風景」をタイトルにしていたましたが、第6回からは、ハマナスの咲く時期に石狩浜に足を運んでほしいという思いから、タイトルに「自然」を加え、募集期間を2ヶ月から3ヶ月に長くしました。応募作品はすべて、市内外の各所で展示会を行いました。



《開催期間および場所》

平成30年 9月24日（日）～10月7日（日）：石狩浜海浜植物保護センター
10月23日（火）～11月6日（火）：石狩北コミュニティセンター
11月12日（月）～11月20日（火）：石狩南コミュニティセンター
12月10日（月）～12月14日（金）：石狩市役所1階ロビー
平成31年 1月16日（水）～1月22日（火）：石狩市民図書館ロビー
2月1日（金）～2月12日（火）：札幌エルプラザ1階情報センター

《受賞作品》



グランプリ 豊島 洋輔さん
「春の訪れ」



準グランプリ 亀田 晃幸さん
「EXILE」



準グランプリ 山崎 久子さん
「帰り道」



はまなす賞 下村 捷二さん
「ハマナス」



石狩市長特別賞

青山 奈央子さん「いしかり海辺の宝石」

1-2. 石狩海岸の保全と啓発に関する協働事業

(NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ協働事業)

石狩市協働事業提案制度に基づき平成 23 年度に採択された、NPO 法人いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」(提案制度は平成 23～26 年度)について、引き続き取り組みました。

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」配布

石狩海岸利用者マナー(カントリーコード)パンフレットを、7月28日(土)、8月5日(日)の2日間、レジャー利用者等に配布しました。

参加者：のべ 14 人

配布数：のべ 150 部



■海辺パトロールウォーク

平成 30 年5月より海浜植物等保護地区に指定された親船地区のバギー車等の乗り入れ状況を調査するために、計6回のパトロールを実施しました。

実施日：5月11日（金）、6月1日（金）、7月6日（金）、8月3日（金）、
10月5日（金）、11月2日（金）

参加者：のべ30人



1-3. 施設における啓発事業

常設展の更新および企画展、自然観察会等を開催しました。実施にあたり、社会教育施設や市民団体との共催や協力により内容を充実させました。

（1）展示（場所：石狩浜海浜植物保護センター）

■常設展の更新

- ・常設展示内の一部をリニューアル
 - ・季節ごとの動植物展示を毎月更新
-

■企画展の開催

- ・石狩浜の花ごよみ 2017（主催：石狩浜定期観察の会）
期間：4月29日（日・祝）～6月14日（木）
 - ・白畠さんの「石狩浜マクロ散歩」写真展（主催：白畠 徹 氏）
期間：7月6日（金）～7月23日（月）
 - ・石狩浜学習新聞（作成：石狩小学校5年生）
期間：7月26日（木）～8月19日（日）
 - ・第6回いしかり海辺の自然フォトコンテスト」応募作品展示
（主催：はまなすフェスティバル実行委員会）
期間：9月24日（月）～10月7日（日）
 - ・石狩灯台古今灯台（協力：花畔・網）
期間：10月8日（月・祝）～11月3日（土・祝）
 - ・たくましく生きるかれんな花たち～阿部先生を偲ぶ写真展～
期間：10月11日（木）～11月3日（土・祝）
-

■石狩浜海浜植物保護センター内で実施したその他の展示

- ・蜃気楼（展望室にて展示）
期間：5月24日（木）～6月30日（土）
 - ・「カエルを探そう」活動報告
期間：5月20日（土）～6月24日（火）
（作成：いしかり UMIBE キッズクラブ）
 - ・「昆虫さがし初夏編」活動報告
期間：6月25日（月）～8月31日（金）
（作成：いしかり UMIBE キッズクラブ）
 - ・「昆虫さがし秋編」活動報告
（作成：いしかり UMIBE キッズクラブ）
期間：10月14日（日）～11月3日（土・祝）
-

（2）自然教室・観察会、啓発情報発信等

■子どもの学び支援（自然教室等）

- ・海辺のクラフト教室
実施日：7月26日（木）～8月19日（日）9：00～15：00
参加者：169人
 - ・流木で鳥をつくろう
実施日：① 7月29日（日）10：00～12：00
② 7月29日（日）13：00～15：00
参加者：① 11人 ② 11人
 - ・ネイチャーゲームあそび
実施日：① 7月29日（日）13：00～15：00
② 8月4日（土）13：00～15：00
参加者：① 4人 ② 0人
 - ・砂の中のお宝さがし
実施日：① 8月4日（土）10：00～11：00
② 8月4日（土）11：00～12：00
参加者：① 6人 ② 4人
 - ・ハマニンニクを編む
実施日：8月19日（日）10：00～16：00
参加者：6人
-

■いしかり UMIBE キッズクラブ（NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ主催）

内容：幼児から中学生までの子どもをもつ親子を対象に、季節ごとの石狩市の自然を遊びながら学べるプログラムを実施した。活動後のまとめは報告として保護センターに展示した。

活動回数：16回（平成30年5月～平成31年3月）

参加者：のべ300人程度

■一般向けイベント

◎海辺の植物ウォッチング

内容：保護センター普及員による館内及び観察園のガイドを毎月1回1時間程度、土曜日の13時から開催した。

実施日：5月19日、6月9日、7月14日、8月11日、9月15日、10月6日

参加者：のべ37人

◎海浜植物の種子無料配布

内容：保護センター・はまなすの丘公園周辺で採取した自生の海浜植物を適宜要望のある際に配布した。

《配布した種子》

エソカワラナデシコ（19）、ハマボウフウ（15）、ハマハタザオ（11）、ハマエンドウ（12）、ハマヒルガオ（9）

■子ども向けイベント

◎春の子どもカシワまつり

実施日：5月5日（土・祝）10：00～15：00

来館者：150人

ボランティア：20人

◎まつぼっくりで灯台をつくろう

実施日：10月8日（月・祝）10：00～14：00

内容：まつぼっくりで10分1の大きさの石狩灯台を来館者と作成した。

まつぼっくりツリー作成体験も合わせて実施した。

■市内公園等での海浜植物栽培

保護センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、石狩市民図書館横に設置した花壇で栽培した。

《平成30年度市街地公園花壇等への海浜植物栽培状況》

場 所	海浜植物の種類
市民図書館横	エソカワラナデシコ、イソスミレ、ハマボウフウ、ナミキソウ、エソスカシユリ、シロヨモギ、ハマナス



■その他

幼児が利用できるように、靴を脱いで遊べる場所を設置した。幼児だけではなく小学生の利用もあった。

1-4. 学校・団体向け石狩浜学習支援

小中学校等教育機関が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する環境プログラムによる学習支援として今年度は11件の学校等で実施しました（表1-1）。

表1-1 平成30年度学校等利用状況

	実施日	団体名	人数
1	6月5日(火)	石狩小学校5年生	15人
2	6月21日(木)	緑苑台小学校4年生	73人
3	6月28日(木)	緑苑台小学校4年生	73人
4	7月9日(月)	花川北陽認定子ども園	31人
5	7月12日(木)	花川南小学校4年生	115人
6	7月13日(金)	双葉小学校大空学級	17人
7	7月17日(火)	石狩小学校1・2年生	21人
8	7月19日(木)	南線小学校3年生	145人
9	8月28日(火)	石狩小学校5年生	15人
10	9月3日(月)	石狩中学校1年生	23人
11	10月11日(木)	石狩小学校5年生	15人
団体数			11
人数の合計			543人

1-5. 事業協力・ブース出展

連携事業や地域ネットワークに関する事業を中心に出張講座及び講師派遣として、計5事業に参加や協力を行いました。

■事業協力：北の里浜 花のかけはしプロジェクト（石狩中学校2年生）

種まき作業：5月22日(火)、移植作業：7月20日(金)、苗の観察：10月3日(水)

会場：石狩中学校

内容：関上海岸（仙台）の海浜植物の種まき、育苗、移植など。

被災海岸の現状等を学ぶ。

人数：24人（生徒：21人 教員：3人）

主催：北の里浜 花のかけはしネットワーク

■事業協力：北の里浜 花のかけはしプロジェクト（石狩中学校3年生）

9月15日(土)・16日(日)

会場：宮城県名取市（名取市関上海岸ほか）

内容：海浜植物の植栽、被災地での交流など

人数：5人（引率教員1人含む）

主催：北の里浜 花のかけはしネットワーク

■ブース出展：科学の祭典 in 北海道

8月7日（火）

会場：北海きたえーる（札幌市）

内容：海浜植物はどっち？

協力：石狩浜自然案内人

主催：科学の祭典 in 北海道

■ブース出展：科学の祭典 in 石狩

12月9日（日）

会場：石狩市こども未来館あいぽーと

内容：「海浜植物～タネのふしぎをみてみよう～」

人数：1,200 人 （イベント全体参加人数）

協力：石狩浜自然案内人

主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会

■ブース出展：CISE サイエンスフェスティバル博物館広場

平成31年1月13日（日）・14日（月・祝）

会場：北海道大学総合博物館1回S105知の交流

内容：「海浜植物～タネのふしぎをみてみよう～」

人数：1,908 人（イベント全体参加人数）

協力：石狩浜自然案内人

主催：一般社団法人 ちせ 共催：CISE ネットワーク運営委員会

1-6. 施設利用

各種団体の利用状況では、20 団体の利用がありました（表 1-2）。

表 1-2 平成 30 年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

	実施日	団体名	内容	人数
1	5月7日(月)	北海道大学環境科学院	館内見学	7人
2	5月19日(土)	日本野鳥の会札幌支部	館内見学	30人
3	6月9日(土)	ゆり協会	館内見学	4人
4	6月20日(水)	虹寿会（厚田区虹が原）	館内見学	13人
5	6月22日(金)	はまひるがおネットワーク	館内見学	7人
6	7月5日(木)	藤女子大学	館内見学	30人
7	7月8日(日)	歴史教育者協議会	館内見学	7人
8	7月22日(日)	地引き網体験	クラフト	32人
9	7月25日(水)	紙ふうせん	クラフト	32人
10	8月13日(月)	児童センターらふと	クラフト	11人
11	8月22日(水)	花と緑のまちづくり研修会	館内見学	25人
12	9月12日(水)	日本野鳥の会滝川支部	館内見学	11人
13	9月13日(木)	札幌科学技術専門学校	館内見学	8人
14	9月15日(土)	北広島市民大学 OB 会	館内見学	40人
15	9月15日(土)	ピクニックライドツアー	館内見学	18人
16	9月17日(月)	NPO 法人自然教育促進会	クラフト	13人
17	10月10日(水)	はまひるがおネットワーク	館内見学	4人
18	10月13日(土)	恵庭フットパス	館内見学	15人
19	10月15日(月)	ガイド研修会	館内見学	40人
20	10月20日(土)	石狩写真クラブ	館内見学	8人
団体数				20
人数の合計				355人

1-7. 執筆・寄稿

出版物への投稿は次のとおりです。

■雑誌

『モーリー』No. 51 発行：財団法人北海道新聞野生生物基金
「石狩浜海浜植物保護センター／今年もありがとう 海辺の恩返し」
（ネイチャーセンター日記），63 頁
文・写真：内藤華子 氏（NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ）

1-8. 情報発信（刊行物・ホームページ等）

刊行物では、通信誌『はまぼうふう』62・63・64 号を発行しました（表 1-3）。保護センターホームページでは、行事情報や季節ごとの植物の様子などを中心に随時情報を更新しました。平成 30 年度のホームページのアクセス数は 21,307 件でした（表 1-4）。ブログ「石狩浜観察日記」では、石狩浜の自然豊かな様子を写真中心にお届けしました。市民ボランティアによる石狩浜の自然に関する情報発信も行われました（表 1-5）。

表 1-3 平成 30 年度刊行物発行状況

刊行物名	内 容
通信誌 『はまぼうふう』	石狩浜の自然情報や保護センターの行事予定などを掲載。 ・62 号： 4 月 20 日 発行 ・63 号： 8 月 8 日 発行 ・64 号： 11 月 30 日 発行

表 1-4 平成 30 年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数（単位：件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件 数	1,627	2,478	2,716	2,232	2,478	2,752
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件 数	2,225	1,137	746	957	822	1,137
年間計	21,307		月平均		1,776	

表 1-5 市民ボランティアによる情報発信

石狩浜定期観察の会	はまなすの丘公園内で撮影した季節の動植物の写真紹介（保護センター、展示室、ビジターセンター2階、石狩市民図書館ホールで展示）。
花砂丘仕事人	保護センターの展示室に設置している開花情報を毎月更新
花畔・網	保護センターの展示室に石狩浜に関する情報を紹介

1-10. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子は5種 66 袋でした（表1-6）。

表 1-6 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種 類	配布袋数
ハマボウフウ	15
ハマハタザオ	10
ハマエンドウ	13
ハマヒルガオ	17
エゾカワラナデシコ	11
合 計	66

2. 調査・研究

石狩河口右岸地区のイソスミレと親船・弁天・聚富地区のハマボウフウの生育調査が行われました（表2-1）。

これまでに発行した調査研究報告は一覧（表2-2）のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表2-1 平成30年度の調査研究・自然情報集約

調査内容	備考
①イソスミレ生育調査	実施日：5月9日（水）、5月18日（金） 参加者：のべ25人
②ハマボウフウ生育調査	実施日：6月22日（金）、7月25日（水） 参加者：のべ12人

表2-2 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と14年間の植生変化（2002年度調査）	1号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003年度調査）	2号
石狩海岸林の植生概要（2004年度調査）	3号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5号
聚富海岸の植生概況（2007年度調査）	6号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7号
1989年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8号
2008年から2010年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10号

3. 自然観察園の整備

砂丘の植物の生態をより分かりやすく伝えるため、砂浜からカシワ林にかけて生育する海浜植物を区画ごとに配置しました（図 3-1）。これにより、一般の来館者への利用だけでなく環境学習での活用を図っています。

また、観察に支障をきたす雑草の除去も時間をかけて行い、対象植物の観察をしやすいしました。木道が老朽化してきていたことから、できる限りの修復やこまめな植物の剪定を行いました。

新しい試みとして、来館者による積極的な観察園の観察を促すため、発見したことを報告する「観察園レンジャー」を実験的に実施しました。子どもから大人まで多くの方が参加し、普及員だけでは気がつかない発見を共有することができました。

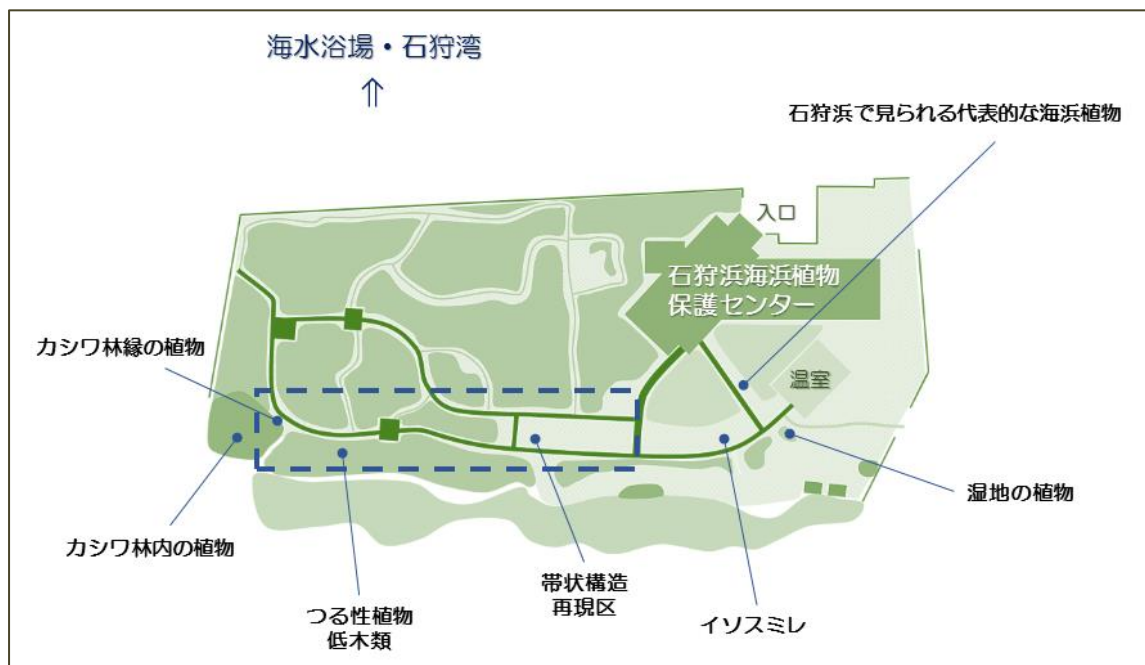


図 3-1 平成 30 年度自然観察園概況

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

4-1. 海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

保護センターから弁天歴史公園まで、ハマナス再生園やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りをを行っています（図4-1）。

ハマナス再生園の園路と有機的につなげ、本町地区を訪れる利用者の利便性を図りました。



図4-1 保護センターから弁天歴史公園までの散策路

4-2. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキ、アキグミが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成30年度も春と秋に景観保全作業を実施し、企業の社会貢献活動としても多くの方にご参加いただきました（表4-1）。今後も継続していきます。



表4-1 平成30年度外来植物等の除去作業実施状況

実施日	参加者数	参加団体等
4月21日（土）	87人	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ、石狩市緑化推進協議会、石狩浜海浜植物保護センター運営委員会、NTT 東日本 CSR 推進室、石狩浜定期観察の会、夢の木プロジェクトほか
10月13日（土）	65人	

5. 来館者数

平成 30 年度の開館期間中（4月 29 日～11 月 3 日）の来館者数は 8,531 人でした（平成 28 年度来館者数 9,215 人、平成 29 年度来館者数 10,021 人）。平成 29・30 年度の来館者数の月変化と年度比較、平成 12 年度からの来館者数の年変化は、以下のグラフに示したとおりです（図 5-1、図 5-2）。

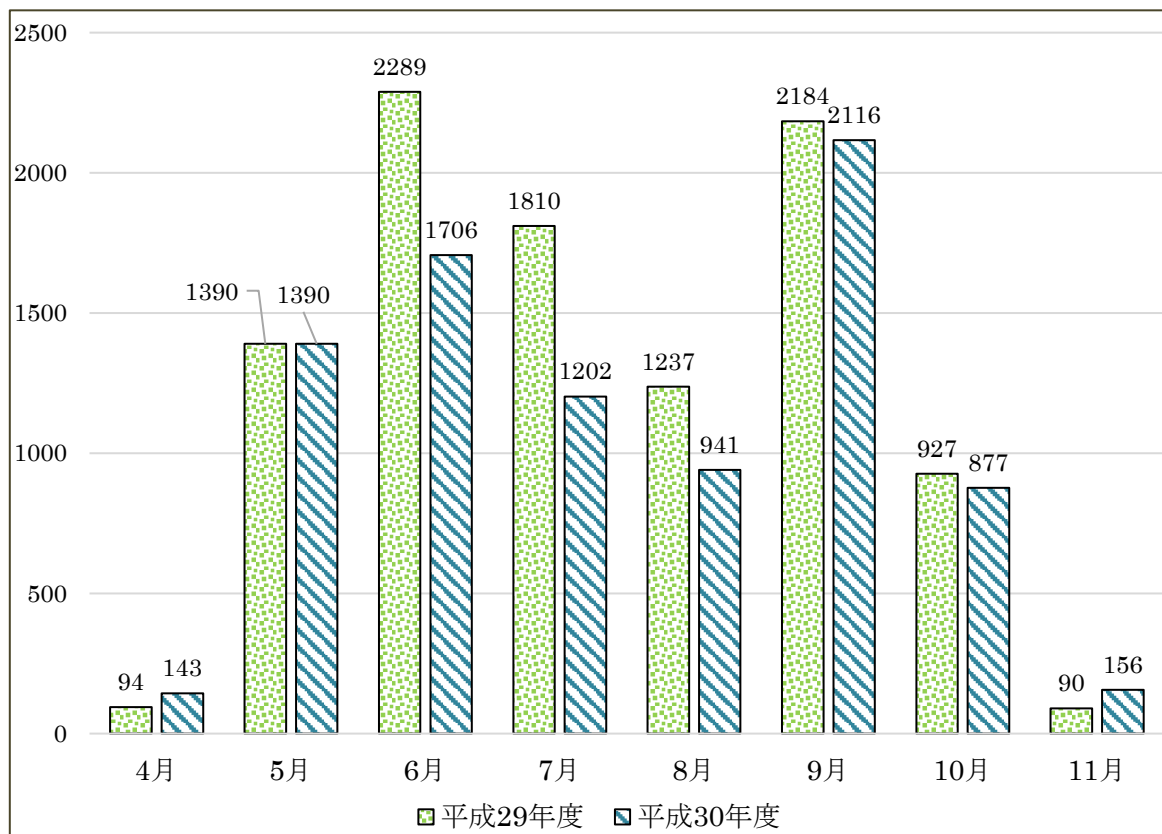


図 5-1 平成 29・30 年度の来館者数の月変化と年度比較

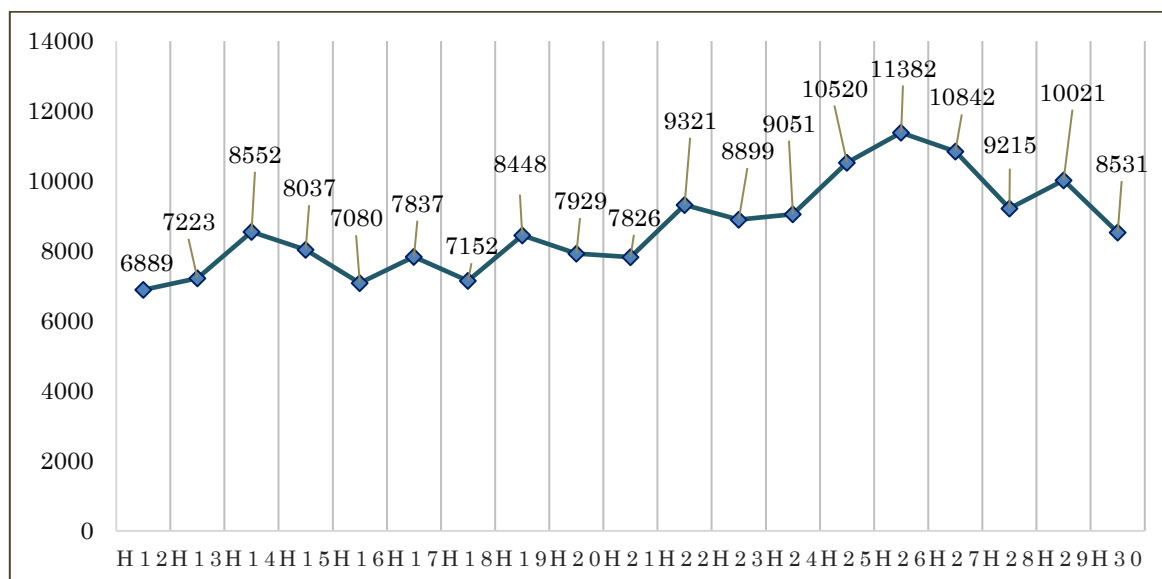


図 5-2 平成 12～30 年度の来館者数の年変化

6. 保護・回復対策

6-1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から10月まで（聚富地区は5月から10月まで）監視員2人により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先の4～5月はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

6-2. 石狩浜海浜植物等保護地区（親船地区）の拡大

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への侵入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から侵入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、平成25年に指定した「弁天地区」・「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

「親船地区」から西側（東埠頭側）に約1.2km、面積約15haの保護地区を拡大するにあたり、平成29年度に石狩市環境審議会へ諮問し、答申を受けました。平成30年5月1日施行により「親船地区」は全体で27.0haに拡大され、新たな区域にも看板や車両侵入防止柵の設置を行い、海岸植生等の保全に努めました（図6-1）。

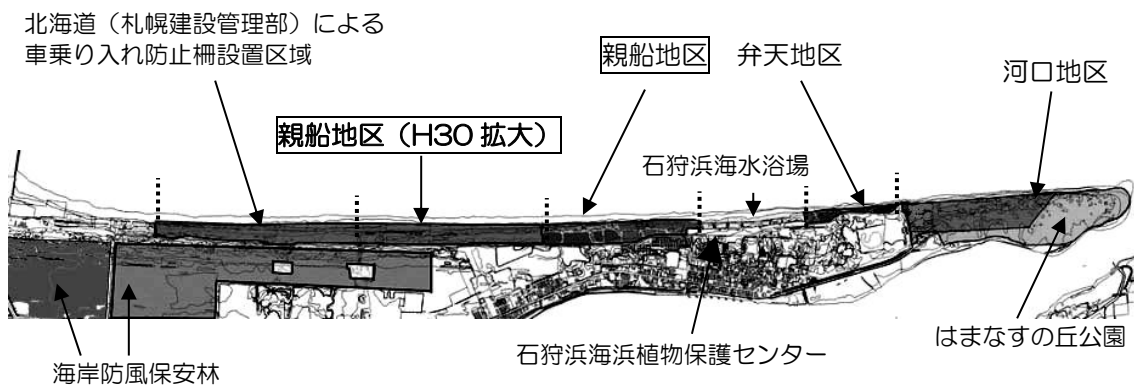


図6-1 車乗り入れ防止柵設置区域

治 革

石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残していくためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成 12 年 4 月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称	石狩浜海浜植物保護センター
所在地	石狩市弁天町 48 番地 1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模	敷地面積：11,244.1 m ² センター／木造 2 階建、延床面積：259.5 m ² 、建物高：10.9m 温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m ²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物はじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○ 啓発・普及業務

展示施設・自然観察園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

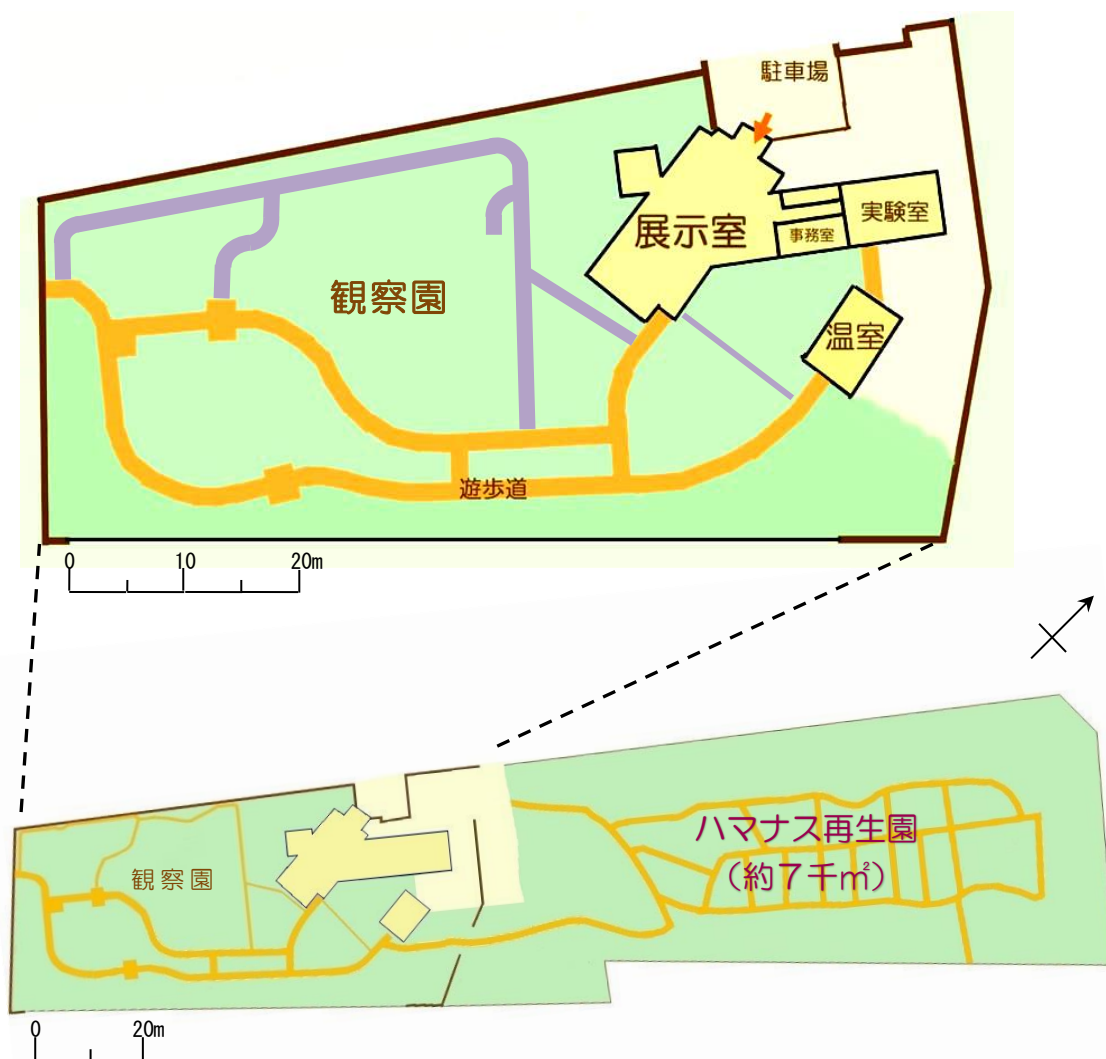
ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

○ 調査・研究業務

石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施
ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩浜海浜植物保護センター施設略図

施設の改修等

平成30年度は、観察園の木道（枕木）が老朽化してきているため、一部を改修し、利用者の安全性向上を図りました。

石狩浜海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日
開館時間 9時～17時
休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）
入館料 無料
駐車場 あり
交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」
発「石狩」行き約60分「石狩温泉前」
下車徒歩5分



◆石狩海浜植物保護センター運営委員会名簿

(第 10 期：平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

会 長	松島 肇
副会長	安田 秀子
委 員	伊井 義人
委 員	溝渕 清彦
委 員	内藤 華子
委 員	石山 優子
委 員	渋谷 真澄
委 員	田畑 博
委 員	山田 春雄

平成30年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書

令和元年9月発行

発 行 石狩市

編 集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>